

Contents

第1土曜特集

神経変性疾患の 分子病態解明と治療法開発

681 はじめに 勝野雅央

疾患別の最新研究

684 バイオマーカーからみたアルツハイマー病の病態と診断
——疾患修飾薬時代の診断基準 池内 健

690 新時代を迎えたアルツハイマー病の治療法開発
——抗アミロイド療法を中心に 小野賢二郎

696 Tauopathyの分子病態と創薬戦略 下中翔太郎

705 バイオマーカーからみたパーキンソン病の病態 波田野 琢・服部信孝

712 パーキンソン病に対する疾患修飾療法の開発の現状 池中建介

717 多層的動的均衡システムの破綻として捉えるALSと治療戦略 山岸拓磨・他

723 進化する球脊髄性筋萎縮症の研究——病態解明と革新的治療法の実現へ 飯田 円

730 リピート伸長変異による脊髄小脳変性症
——明らかになる遺伝的知見と分子病態 藤野雄三・永井義隆

738 多系統萎縮症の分子病態と治療開発 三井 純

744 神経変性と自己免疫：病態のオーバーラップ——神経変性と自己免疫 大野陽哉・他



研究開発手法の最前線

- 752 神経変性疾患に対する核酸医薬 佐橋健太郎・勝野雅央
- 759 神経超希少疾患に対する個別化アンチセンス核酸医薬開発 中山東城
- 766 神経変性疾患における血液のオミクス解析いろは 中枘昌弘
- 774 神経筋変性疾患に応用可能なさまざまなゲノム解析手法 石浦浩之
- 779 霊長類を用いたアルツハイマー病次世代動物モデルの進展 城宝大輔・他
- 786 iPS創薬が拓く治療法開発 足立雅浩・他
- 794 神経回路網から紐解く神経変性疾患の病態UPDATE 花川 隆
- 800 神経変性疾患の創薬を支える臨床研究・治験 橋詰 淳・勝野雅央
- 805 次号の特集予告



サイドメモ

- 692 A β プロトフィブリルの歴史
- 697 低温電子顕微鏡法 (Cryo-EM)
- 719 Cryptic exon (隠れエクソン)
- 733 リピトーム解析
- 739 遺伝子単位の検定
- 747 NLRP3インフラマソーム
- 757 核酸医薬の創薬への応用
- 768 エピゲノムワイド関連研究 (EWAS)
- 781 ノックイン技術
- 782 TALEN
- 788 ニューロフィラメント軽鎖 (ニューロフィラメントL)
- 791 オルガノイド
- 795 安静時機能結合ネットワーク (RSN)